

2024年

創薬人育成スクール

日本薬学会 医薬化学部会関東地区 2024年度 創薬人育成事業

UTokyoセミナー

“創薬研究の最前線を俯瞰する”

日時：2024年11月7日（木）14:00 - 16:40

会場：東京大学薬学部 薬学総合研究棟2階講堂

内容については添付の概要をご参照ください。

講演: 60分；質疑：10分

14:00 - 14:05 趣旨説明

14:05 - 15:15 セミナー1

表現型創薬における化合物の作用機序解析

講師：協和キリン 山口 大介先生

15:15 - 15:25 休憩

15:25 - 16:35 セミナー2

Treg細胞を標的としたがん免疫療法薬

(抗CCR8) の創薬研究

講師：塩野義製薬 吉田 哲也先生

16:35 - 16:40 全体質疑応答・閉会

参加無料

対象者：創薬科学に興味のある学部学生，大学院生を主とします
(大学・学部・研究科は自由)

参加希望者は、大学・所属・名前を明記の上、下記のメールアドレスまで参加登録
をお願い致します。当日参加も可能です (メールの件名は**創薬人UTセミナー**)

連絡先：東京大学大学院薬学系研究科 大和田智彦

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 TEL: 03-5841-4730 (内線 24730)

会場までの交通：

本郷キャンパスまでのアクセス：http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html

建物までのアクセス：http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_10_02_j.html

薬学系総合研究棟の西口玄関 (バス通りの反対側) からお入りください。

講演概要

表現型創薬における化合物の作用機序解析

講師：協和キリン 山口 大介先生

近年改めて注目が高まっている表現型創薬（フェノタイプベース創薬）は、予め標的分子を定めず表現型の変化を指標にして、望みの生物活性を有する化合物を選抜する創薬手法である。化合物の作用機序の理解は、化合物の最適化研究に有効だけでなく、非臨床研究においても重要な情報となる。しかし、複雑な生体中から化合物が作用する標的分子を特定することは容易ではなく、様々な先端技術が開発され活用されている。本講義では、主に我々の作用機序解析の事例を標的分子同定法とともに紹介し、化合物の作用機序解析がどのように創薬現場で活かされているのかを概説する。

Treg細胞を標的としたがん免疫療法薬（抗CCR8）の創薬研究

講師：塩野義製薬 吉田 哲也先生

近年、新たなガン免疫療法の創薬標的細胞の一つとして、腫瘍内に浸潤している制御性 T 細胞(Treg)が脚光を集めている。本講義では Treg 細胞と、そのガンとのかかわりについて紹介し、創薬標的分子として同定された腫瘍内 Treg 細胞に特異的に発現する分子 CCR8 について、バイオインフォマティクスを駆使した同定手法と、ターゲットバリデーション、特許戦略について紹介する。